| 例単級行の制線版は純酸町制線版 | 右の如く公会開稿数に鮮頭が振む | 出した現典観音数には現間行理事 | 異常子形可決の上部族院に戦略する場合の対象の大学開稿数に軽視が振む | 出した現典最重節理事人器大郎氏 | た上これを可決していて本節語に発生し

経済の通晓者であり加へて結城

河上氏を拔擢

杉英五郎氏

と答ふれば並杉氏目端より『内心

英伽對策を練

けふの閣

長等に賜詞、佐々木校長即先導 要な科学的児童となり一般発情

車警が照制追放

の垂風水久等位施設なる脳殿格 | 男氏に對して『中央軍事委建等の| 東北衛中は大人の直溪後でに長された終節線りの原を陳元龢と | 局は井三日突如同支駐を渡び森第 | 総領事館に申出た、よつて中村廣阪印刷の實際操作等を組織機。 | 本子法略過を加へてゐたが東冀第 | 直をするの不捨行為あつたに廣東 同支店の即時退去を命する」「出」」對して嚴重抗議した

では航祭間の製作に従事するま して完き版庫を設卸し居る現状 航空の指針と

香港の軍備を擴充

差當り二百萬ポンドで

陸、空軍を強化する

同三十分經理學校に御着、便・本木校長より卒業學生に卒業を

秋田氏新黨運動

きのふ安達氏と懇談

取、次いで名素式場に親臨、佐 約十五分に亘つて御郷心に御幣業配生具谷脂詩氏の御削跡演を

被要を召され宇佐美武官長御陪日 天皇陛下には 海軍 御通常 発達式初めの行奉である、この は組設以来また極単組理學校も

政民兩黨の打合せで決定

つてゐた河原田、層野南相、箕扱きで午後二時過ぎまでご

各道に社會課

社會事業强化の陣立



とになり、これが現れの一つと

液解に戦局の型狀に騙し急患を交 して戦勢を供にしながら極めて難

せられ途中三回に亘り所搾設の極。たが背つて革新仏衆部高壁行動をの散験的應度で同夜の下航船に乗って各派と職合せ的部合を行つてゐ |人に過ぎない情能線したが公安局||館の名の下に富田議長を伸介とし

(15)

勢畫 郎

血壓の低い人と

溢

の 同波が一方の足端を「髪」へ添うて、は、端の中へ遊びこすれた。 組織と は、端の中へ遊びこすれた。 組織な たちとう懸にせられた三人の骸闘 その時、短期で火 が燃えだした。

山壓の低い人も決

といれてみた

「つひ、うつかりして たのだか によくなつご

たところであつた。 龍嶽はきまり - 龍巌はままたれるのられ **みませんこ**

耳のあたり

A THE REAL PROPERTY OF THE PRO

した調であると思ふ。

型 に駆するものである。他動脈感蛇 ただの歌りに大いなって危険からを、 たが歌いた いかい ない たいかい ない たいかい ない たいかい ない たいかい ない からない たいでき 世る。

しば、そちが何

題はないが、 物がまた来たっ

かねから、気を

いがよい、ニ

天地支黃

が悪り、節縮や形脈に概まされ、いた。 が悪り、節縮や形脈に概まされ、めまい、のほせ、めまい、 歌み弱つり、不思語も歴す時であ



るから存草な形を受死をおれては



脳の血壓の低い人が **動脈痙攣から**

か或は大は小を飲ぬる 一を刺くに牛刀を用ゆる 化症の初めてあつて海 貴來の股州は恰かも鶏 動脈の極れんは動脈硬 かうすれば治る

身過勢の害等が第一に 梅毒、肉食過剩毒、心 といる程度の治療効果 がある、酒毒、煙草毒

ç

動脈を痙攣性收縮せし

さぬ時に脳溢血、中風せしめ更に不鄙生を麼

となつて活社館から現

一有効のみでなく脳盗血 |海貴來は以上の疾病に

み、回復に向はしむる 前部に吸收と排泄を管存者に對しても脳の盗 豫後の中風ちらきの半 身きかねお氣の毒な生 ※に服用をお奨めするのであるから迷はず氣

『上浦・皆に酒をやるがよい、』

まつてみた。

つてるた。 土

『わしばかり頭 競しては異がな

観波りを見せ

赫基たる好声を写うせる

海草精剛

しざいますかい

なられ。

水器へ守つた。

でしてすごすご の中に、三人の

つてゐた。

、おと振りやが

れださい

削速に杯を振つて飲みさしの歯

貴

海貨水は一時的血豚低下剤や、血豚が成立り、自然的に引下、 とを誘致なり、自然的に引下、 は、中國には、対して、一般がに引下、中國には対して、自然的に引下 で導入を含める。大分の信息 が対からるのが、六分の信息 関わりて脱引されたい。 血壓亢進促、中風動脈硬化症、腦從血 便秘利尿、肉のコリ関新。 心悸亢進症、頭痛と不厭症、 リウマチス、ヒステリー症、 経、脳神經衰弱症、神經痛、 申込水第代目で直接にも認る 中込水第代目で直接にも認るがハガキで全國の売店にあるがハガキで全國の売店にあるがハガキで

河 合 洋

新聞名記入申込次第進量◆属理説明書入用の方は 日本總發賣元 東京市本郷語菊坂町五十二番地 振音東京四六一電話小石川五一

石だぞ、石鎚剛

を行こめ、

あた。株香は、緑 で掛りまはした

主効

鐵泥の哀號

ぬき足さし足

【以經經定】 非岭良一、油田食、和田野地、吴曜仁、阿井岭二 山本正村、西成一夫、盆田农地 山本正村、西成一夫、盆田农地 大坂忠男、江口孝之、盆田农地 大坂忠男、江口孝之、盆田农地 大坂忠男、江口孝之、盆田农地 大坂忠男、江口孝之、盆田农地 大坂忠男、江口孝之、盆田农地 大坂忠男、江口孝之、盆田农地 大坂忠明、宋 田原三、太公郎 (村城卓明、保 年春度、小松溪、村城卓明、保 年春度、小松溪、村城卓明、保

は織泥壁が横行してゐるが

あつたが、この捏造質の決裁を得

に際語をもつて突入し、竹門

榮えある合格者

つれも質問をものともせず

日午後六時ごろ京省城大和劉

てゐるが襟に機崩。を即取選走中と判断した 「釈されたこの男は張眉町三三〇架||緑郷は各方四から「用菓子新書の代釈から鑑賞十五貫」を本郷の東大門等域に観覚され機能ときればを行い達に機能と語で、全世紀で、

偽刑事最中

が調べると、京城舎皇町三八宋龍」は東大門署の巡査部式だ。と朱樹 タリ倒れた二人連れの男を同所は一酒中、隣各か立上りゃ岩は此か俺

の際へられる中で生北部崩潰で決 | 足の郷、持つた命物の重みでパラ | が発展町上七代兵庫貫上西方で吹煙車を翻りをは縁のの置き・時間層、朝を通り扱けようとして決き足差 | 摩幌衛内定覧コック朱原院最小に

が死南町七七代成店五二百万で飲

來月三日慈城署員に功勞章

猛吹雪に惱む北鮮線

躍魔白に鮮北

八列車としてリレー式に特強した、尚北鮮線一帶は廿六日正午に至るもに早後、蔣士五分京城育選定の羅歌總行第五〇元列派は廿五日午後五時四十分清徽育の第五〇五列派を昨日十五日午後五時四十分清徽育の第五〇五列派を 振ひ目下の所何時終熄するか分らず從つて埋沒列軍の復舊の見込も不明である 四上をうづめた大吹雲淵に突入埋沒し列車は遂に運轉不能となったが幸に歌名には最常なくよれた。今にも京城發羅津行急行第五〇七列車が北鮮線農園、承夏間(暗眺起野三八年七〇米田町)で線十四日火災北部地方を興つた吹雪は北五日に包もも終めせず別嶋を初め各湾地震騰は趙朝駐戯を屡めてゐた趙朝北五日午後を寿十四日火災北部地方を興つた吹雪は北五日に包もも終めせず別嶋を初め各湾地震騰は趙朝駐戯を屡めてゐた趙朝北五日午後を寿

め気夜から列車の運輸計組した

なは発鮮一項に帯度以下で例年と

咸北乘合不通箇所

輪禍續出から警務局が乗出す

圖るため不定期臨時急行第一一〇 備へ急行『のぞみ』の輸送が相を

進局では単原は地域者の諸軍に

一十七日か

足であつたが減上げず七日から常一

哪十五分、同十時十五分節以若

優良運轉手の過失は寛大

この問題を、関節に徴不自由を終じてゐる。眼でゐる、関かれた各重原影響を留し、取締内規が、たいた8、観劇明に冒氣を翻り、先數本解で、る前の如まは 、現在冷雨器が出ては有地 する目的かっ元く自動や革出に開います。 はこれが発が成功の部級を期間が開いては対対 単にこれが発が成功の部級を期間を対しては、またのでは、する目的かっ元く自動や革出に開いませ 傷ニーペルメル 理解のある行場が

徐行箇所の修理と取扱迅速化

極力定時着後を期す

不審に担心 取詢べると 散線域門に荒してゐるオース泥網 番眼科二級の権用を押されて昨番。 整成が

盗みも盗んだオーバ五十着

飲み代稼ぎの犯行判明す

溶削料二型の指用を抑されて昨番 「二川に上韓したもの落削料一型の指用を抑されて、同人は天神から計判を

競馬を前に

が増手の名を利用する思事が原大 第シーズンも迫つて早くも馬丁

> 七一家田怪田から廿回、京城樹井 から無行行の使ひだと語し新設可

空間の臨時急行は往復とも運転さ

門署政にあばかれた。京地新版町「環型され廿六日朝総録されたが第手の名を利用する恩事が原大一郡取してるた事實が原大門署員に 村若の友人間を沈き題り、金品を 後二時から山下裁判長、近陸総事 町飼井芸氏から十五國をはじめ稷|城地方法院最後のな

マヨネーズ

吾子と共に夫の恨みを晴した

妻女に三年の求刑

御家庭のハイキングに

情狀的量の上盤役三年を求押した一年後一時標準は論告の後被告金に

で行と権で殴り殺したものであ、飲ませた盟句自分の子供と二人祭さらと娶と子は愈に散々酒を

樂シイー 京日コドモ會

春かあとぼりをして廿五日も生怕



特製アンド

包儿

ら配製から聞宅、自宅の奴職で登さんでよりは甲五日夜十一時 は河町一四七の一大戦完善氏力 御婦人御用心 川の御婦人方へ赤信號、

〇八學、進級御祝二

自製直費 高

一概 曹 京 城 三 四 路 和本二國・二元四(本月)

MURAKI

新型豐富大特賣

二十七

日より

追

(五階ギャラリー)

观京

四階本一二十日

助民作陶展

思確と批画の風 昭 北東の厦 闘ったり 晴

隣

くる。アクルな 豫約募集! ジャズの名曲集が大の名曲集が大いできません。 林 ヤフレップ (歌とケン)

产产业内型 會協賞經樂洋

夢

回 3 第

ラ即 鼭

リーオーカ(R) オーカ(R) オン・ザ・リッツ(F) カー・・マッド・アステアーのの一本一路 ぎて (F) の一本一路 一番 ぎて (F) カース・プライン・デューション・オン・ザ・リッツ(F)

半 夢 見

優秀治游 地 五日分成円 直を載るが 黃素整日南久蘇町

店計時木村 社會式株

+

M

帯放掘車に対し、行政協分「内拠を含道に通知することになつ「戦である」の収縮を行つてゐるが、「する行政協分の統一を主旨とした」成して、職績故の論がに努める方

前十一時酸測所提到常は正実な

天氣豫報(計計

曘

療

・建成なの規定に作用しば、 ・提出信便上速に作用しば、4実件 施を成よ。 ・競会通牒する気を性の母様に対 用に健時動密棋作作用を含む。 3. 然当を作よ内外停板に跨し止進 に確づす。 も、戦力の採用手機の使用に乗り場 目を接の要相談・影響なり。 空燈 B

显 發 質 元 丸 響 關 店 大阪市東區選修町 (提替大區 865) 翻單代理店 鷐 灣 商 店 東京日本基級本町 (福普県京72884)

一物誌的効果に就て

が前年の各宗教厳盟信者数と現在の動向に多大の關心をもつてゐる は注目すべき現象としてこの衰骸 再貨上地域の状態で、道品等談で

型、死战不明で所懸散版器で取割水池に罷死超となつてゐるのを認

時から同意通常認識を聞き十二年に真はして逃走したもので悪色変で、「定平」都豊富では廿一日午前十一左院成日内出血会台三週间の偽を

定平郡農會總會

出かけたが同日午後四時頃農用

| 「理里製」 (工業里) 低級、連行途中指題を新 | は非金岩塊を行って埋造中二十 派別に | 大寺二十分電市内京町一四六宮川 | 家町で開新した、右は完置 | なりかくつた種里製販売貨配事が 郡高山西島内里五七七星織町付上 | たくのを越 | 重しみ本器に連行中、京町東本殿 が凝ぎ度破ごうで影節人情を自白 | からからのた郷 | 重しみ本器に連行中、京町東本殿 が凝ぎ度破ごうで影節人情を自白 | たくのを越 | 重しみ本器に連行中、京町東本殿 が凝ぎ度破ごうで影節人情を自白 | たりのを越 | 巨しみ本器に連行中、京町東本殿 が凝ぎ度破ごうで影節人情を自白 | たりのを越 | 巨しみ本器に連行中、京町東本殿 が凝ぎ度破ごうで影節人情を自白 | たりのを越 | 巨しみ本器に連行中、京町東本殿 が凝ぎ度破ごうで影節人情を使した。

見れば自宅の前を辿り

○連續服用するも副作用な

本意國際製 張原大門二 新 井

洋藥藥 藥 行房房 历

孌

關東代理店 造 沱

87-197(0)

間の近田

鏠

愛品

一者の終別山がブー、

の表し、心は十六日正午街草苅りに

【永同】 强烈那三升面兀南里是氏

草刈りの若

敬者数は左の通り(括頭

が盗を働いたことも自自したが、 24主任もこの漢つたれ小泥

類似宗教の没落

長、安東道龍外官民有力者四十餘

名参列裡に嚴かな地磁祭を執行、

逃げた怪漢

大泥棒と判明し

翌日格闘の上捕縛

がしたが一向合點が行かず。

別れたぎではよかつたが、明石に

記令里に影響新築することとなり

「原州」去る廿一、二兩日公立曹 **迪書記試驗合格者**

至刘事、吉崗內楞部長、小高試驗

日醒めた教徒續々と脱教

普天教逐に壊滅

巡察中の平地製造が鹿児鹿町する 趣師的近で懐中から五十銭銀貨

の『軍像職権所々である飛行場で交通は相當の支慰を来した、清徴

銀貨十九圓鷺摑み

司法主任の折紙附

【平撰】秀吉の首をねらつた大嶽 | され日毎に除を増してゐた農作物 【海津】廿四日朝來降り積つた雪 清津は積雪

たものであると
ため機器士の見渡しがきかたかつ
ールド朋太健が到着したので直も

ド明太空語所は西部公吉校と共 ととなつたがこれで咸窟のロー

「清州」既東、忠北道是事就最基「清州」既東、忠北道是事就最基

地鎮祭執行

は正年には十六センチも限り人々 | 縣上間避すべし』との脅迫文が類な影かしたがこの時ならぬ大害に「込み日頭は遊ば並日成一派の所為を整かしたがこの時ならぬ大害に「込み日頭は遊ば並日成一派の所違 合第一軍司令部名義で羅数と社在

力しつ、ある我軍に對し冬服職に所の對岸長卢縣十三道職移住等人

所へ送削せよ、若し背けば京法に

代書地を相手取つて右握座標。由から大聯度被法院政事部に五八匹から赤ជ機接続集組手、ら帰属の義権がないといる弾・いては東王の江殿道官登走法。に遂め即らしてゐなかつたかはうます。

同二時から各種の品計會優有状態

興式を開催した 京島版、明白王、宋前明、孫宗 京島版、明白王、宋前明、孫宗 安東東耶、計編與、下惠洙、 (大田] 棟馬頸質局長は二十五日 林宗爽、具本郎、市福慶、吳平珠、 道郷を訪問の後級質局長は二十五日 林宗爽、具本郎、市福慶、吳平珠、 道郷を訪問の後級質局天は二十五日 林宗爽、具本郎、市福慶、吳平珠、 道郷を訪問の後級質局天は二十五日 大東直版、金郎子、本玉祚、徐波、 道郷とあ間の後級質局天は田出趣所 華中順、金龍好、韓三海、 『總歌』と記述第一次田祖聖所 李中康、金郎子、本玉祚、徐波、 『忠郎』の報牒を贈すた田分 原山玉、金郎子、本玉祚、徐波、 『忠郎』の知牒を贈すた田分 原山、金郎子、本玉祚、徐波、 『忠郎』の知牒を贈すた田分 原山、金郎子、本玉祚、徐波、 『忠郎』の知牒を贈すた田分 原山、金郎子、本玉祚、徐波 「本」、『古郎』の知牒を贈すた田分 東山、北京、 『古郎」の知牒を贈すた田分 東山、 『古郎」、 『古郎」 「一〇〇〇〇〇個東上の復定

関北省郡守尹相朝氏は原権証のた 、関北省郡守尹相朝氏は原権証のた 、 め十九月全く危恵に降り建設為等 、 は、一十月を大徳東に降り建設為等 、 は、一十月の一十月の 、 は、一十月の一十月の 、 は、一十月の は は 一十月の は に 一十月の は 一十月日の は 一十日の は 一日の は 一日の は も 一日の は も 一日の は も 一日 は も 一日 は も 一日 は も 一 --- (全州)

頭痛に チンノー

に脳に榮むれ頭

共に頭痛に疲れ切ります

春は お子さんも

小屋の春慶辺散を、 お母さん 痛は止まり頭の疲れはなほり更 のみますと二三分間でキ、メ

心身共に爽快となり お子さん方は喜び勇んで通學さ 関の薬チンノ 共々に春の歡喜に浸つ お子さんも

頭痛にはチン のめばすぐなほる



(1英二十單位) 10元(1國代) 10元(1國代) 10元(1國代) 10元(1國代)

総関(百単位) が数(回数) 10.数(回数) (田百單位) 「四百單位) 「四百單位) 「四数(回址) か数(回址) 「四数(回址) 「四数(回址) 「四数(回址)

一の議策も既に被議した議策に開駅 宝でで 東京の議長を定めるため水井府共 地なく連貫、体発しその間を覚を するものしみで参興社の配散な意 見を職取する程度で一個千里に買 高する考へである。 catal 里二九山紫藍方町の道路に置いててむり、また國庫補助は今年申 かにされたので着郷を買ふべく同 八国時部は無属理に終了、残部 **缺勤の事務員に疑ひかゝる**

加度計量算を一緒に可決して

二港の滯貨

ある中古自戦戦を失敬したものと

府立病院を槍つ玉に

結局特別會計豫算は原案通り承認

緊張の釜山府全員委員會

流下する特権大豆は腰報の通り新

ふ即風景、府氏眼をくるとしさせ

[元山] 佐田、雄芸、元山尚里着

水質智護行で、廿二日元山産に着。途についた

進級生は お母さんは 勉强しなくてはいけない 從つて小さな頭を非常に惱 新らしい

學科が増えて

盆々

楝居專賣局長

可愛想で更に頭を使はれまお子さん方の惱むのを見て

名場合並に授乳 乳汁分泌不足せ 中途にて乳汁量 又授乳當初より 進せしむ。

増加せしむ。 用ひて分泌量を 減少する場合に 観測にして、 性卵胞ホルモン

く一致せる結晶図際標準品に全



松陽散战は『工業用がについて質」

★記案性権員 党地使用料は高す

て高くない、菜地は碧蓮の土地 て相談しやう と連ふので土地の課費をです。 本学生権制 根本的に修正する 本宗在職権員 根本的に修正する 本宋在職権員 内気能道補助の被がにないが、郷については多 漁の理由如何、属費補助をうけがはない。菜地は碧蓮の土地 て相談しやう

中古自機順を資却せんとする男を

是林林課 高平恆、莫仁冰、 農區。劉毅雯、雅華昌、宋福 東、孫區。墨東宗、李曾皇、 西[澤、小倉臺雕、川茄菊、宮 田公生、李在朝、李周翰、趙先 と 重中、北太美、寧三版、 全 重中、北太美、寧三版、 全 重中、北太美、寧三版、

室に順著一枚の異様な豪で一般の 階類里三五紀書自蘇中店へこの塞

【不選】 廿四日午朗十一時頃而內

清州農業校

目轉車失敬

入學の関歌

全州高女校

一致で推され、午後四時散

▲水井府尹 泉城に比べても決し

いづれ委員曾に入つ から道補助は殆ど人件費とたつ 五航皇庙で馬越成真を左してはだっくり相談したい | 本永井府事 | 臨時部がなくなった | たがはず約 | 時間前海南部地里 |

たがはず約二時間的所内船集里

責任回避はならぬ

預かり品の紛失で損害賠償

一番でも負け

四日も出まずはいではあるが利田

多服を送れ

匪賊の脅迫文

一夜から踊り飲けてゐる隆雪は甘

長閑な議場に朗風景を展開

七日目の仁川府會

買って龍場既に騒然となったのを 承る」と答べたため最近の情況を に は 所則を は 低い に 就き 質問する や 四周上木郡長前散に『参考として

院部登に當つて朝鮮人思書の待遇

祭通り承談に決し同三時体配五分

歳入の第一讀曾は

| 節を定げ、委践館は二十七日午後 | 常四十九枚四百九十圓と干四百圓が漂つてある、詭紋候郎の第一選 | 調べてみると続めてあつた十圓鉱

の電景の苦郷一枚、五百國の電器がら病気と難して鰓骶中の事務は

春陽面西壁里菜("た)の所在を手配 精通した者の犯行とにらみ歌日前

可能かに舒取されてゐるのを趣思。爲替然三枚合訛三千三百九十回か

|桃木黛樹事が设が出職して金丽を||二日午後七時から同八時頃までの||大印]| 廿三日類慶北奉化郡養陽|| たので製蔵が奥塩模型の結果、廿

材木會社の奇怪事

|調べてみると納めてあつた十圓紙||間に行はれたもので内部の事情に

藥消解痛頭

代、茂曹一枝、长川淳子、後禮 代、茂曹一枝、长川淳子、後禮 代、茂曹一枝、长川淳子、後禮 (大) 迎和子、弘元等子、 河城子、湖口部子、梁 河城子、湖口部子、梁 河城子、湖口京子、梁地两子 一文《。河口京子、梁地两子、 河城等子。这位子、梁地两子 一次。 河城等子。这位于、岩水等子、 沙田京子、梁地两子、 河城等子。 这位于、岩水等子、 沙田京子、 沙田京长、 沙田京长、 小黄谷岛

お子さんの

0)

初めての學科で頭をいた新入學生は

オバホルモンは

器の機能を賦活力減衰せる諸臓 **愛現せしむるほ** 性特有の機能を か卵巣機能を活

の健康を保護者を治癒機轉に向はしめ以て女性はしめ以て女性に向いるない。

である、日本のでは、1911年円もするのでは、 一本のでは、 一本の七円の安めが、 一本の七円の安めがの、 第2

・ 我が有田ドラツグの装剤は MC と自然網系の場合的展示であまる。 有効菌情態の配合 と自然網系の配合

★ う ぶ

0)

か ら

城

ロ二円の安物から、高い上苔品の一円の安物から、高い上苔品

食が進み熱も下つて 肺結核が軽快 (埼 玉)

中越竹三郎

た。結果は郊外にも戦結集でしたのでたんたることにと、気も八度七八分より 九度二三十二て、旱運屋師の主党を受けましたので入まり、たれより緩緩ニードの手と思うであましたは、突然形成を見、それより緩緩ニート 厳)の六月、風湿の縁にて自ふでもアスピリンほど 私は別和七平四月より準温度を終んである為です。昭和十一私は別和七平四月より準温度を終んである為です。昭和十一

解熱版を含んであないのに、これに自身を表している。 「解欄のかもと、は果是文公園には結核の解析法」できるのであります。 「解欄のかもと、は果是文公園である。」 「解欄のかもと、「解欄のかもと、「解欄のかもと」は果是文公園では結核の解析法」できるのであります。 「解欄のかもと」は果是文公園である。 「解欄のかもと」は果是文公園である。

10日本としては百倍、二百倍

11日日日には 11日日日には 11日日日には 11日日日には 11日日には 11日には 11日

京性 \$100年本人前年本人的 \$100年本人的 \$100

い限であります。

で新しい病魔を伴う場合に特に多

で新しい病魔を伴う場合に特に習

★下熱劑によらない自然下熱法

左記事所所でお賣坂下さい 質性類につき他の一般薬店

製入工品 CCC 十八四 五十八四 五十八四 五十八四

微

節性の肺結核といふのは、 結節性の肺結核 炎性の結核

トゲンによる方法が、最も確對

を発表した。 を発表した。 を表示で、 (化 變 の 観 病 肺)

結核に名を必断する国首には、 この問題は、一度結核に確つて が「来きすが、しかし、一般 光體を弱

硬型 病物の ーバ荷の形をして困り、肺炎性 像でみますと、海の花又はクロ 作る場合で、これはソントゲン ・ケ所に限定した小され結節を

化性の各病型について

即炎性、結節性、經過を示す三ツの

皇田ドラツグ縣資所を許はれよ際病患者は様々の語音に遂はず 副神

しざ日の春いかいたあ 給核發病から治療まで

> 既ではこの既既を写結核で配まると、なか治療に向つてきた原識で、一次か治療に向つてきた原識で、一 ですから現とが結蹊に強ります。ですから現代を対して、ですののの方になって、近年のものから硬化性の、次が、この対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1の対域がは、1のが、1を1ので、方面が表現がは、1を1ので、方面が、1を1ので、1を1のでは

一 大阪記者は 衆良とすべきか

を何率よく御 使用。 むちがする 王の誇るこれ等の特長 煉製法による比類のな 標準の純粋さと 個十銭です 総計下さい 溶け師れず

%四·九九度粹純

阪大·會商瀨長社會式株鹼石王花·京東

んのちやないか、

篠崎 畓.

獲物と餌 次は運動と餌の關係につい

> 面白いと聞いてをりますがどう もありました、小物では寒蛩も ばかり三貫か四百目あげたこと 狙ふんです、いつでしたが大物

→日時 中

主催宗

城

い八九寸のものを三十枚くらる

☆事にあると一口にいへると思人が同一血族の民族でないとい

どち

が興深

5 加

力に帯つてある、よつほど同国

須持も私は同じだと思ふ、无も

私などまだ極く目が強く

てあと今日まで依みには降つて

五人のきす

ですが置なかく

あそこでは小物は風でもあかり

氏ですが、あ

突段

はりさらだつたらら?

生の制服を

に何せめて試験を受けるだけ

谷

彼女は吾子の世校委を胸に示べ

あつては世間の手前・

先到家内が出まして

嶽ほどのものが、一人の仰に

それにあなれの類が悪にそむ

とらぞあの子のほめ

へ直して下さい

でそれに今里はに限ると伝ふ

竈め切れませんので… 戦也の中學校学院に就さま らしましては、どうしても 世はもら涙ぐんで、父に御るの

放也は俺にとのて、一人の枠

配をかけたやうですが

作服と和服の二面生活。

出をしました。ですからやつば 氏郷殿では、井んが昨年の

小物でも四、五寸の 氏木 でゆつくり いのと略名

も照つても飲かさず出かけると

◇場所がサ七日夕刊及び富日録にて砂妥◇ 會費 京日鮒釣競技會 來る廿八日午前七時十分京城驛集合・小油 こなせないんです、野釣りが







何でも釣 本テグ ry F

お花見道中

優る ▲水切りヨ 名のおどり主要 折した Ŧ 機関く 関かっプ 世級テキテ 解ひごころ浴室 なな ・飾り易い振聞かついてゐます 〇枚一円) 亢 Ħ 發 店 商 內 木 目丁三町納加區戶前市戶神 三—八〇八致大座中替提番二六二合資新館



日本政府專賣特許 青ヂレット替及一枚添へ 美麗な小胆入り奉仕値段 十五号セット 代時器石

だが、學校は脳菜や世間種で

へれるところではない

のには私として一つのおへが では、 私こそどろも失曜しま

不村氏は感覚に弱った表情で

お前は俺の異意を理解して

米紙の 大地

に封切られたが同時間についても **育及ひロサンゼルスの東西南部市** のメトロ超上作『大地』は庶々組

禁。画晚新 ㅁㅏㆍメ 隊撃爆の曉

民苦) 非常時局の正常時局と人物

❸ 安全剃刀器の知識 角度の正確は切れ味の生命線 劇か地の良さと、音及の耐久力 (永持ち)は正確な角度を有する チレット安全朝刀器の誇りです。

(にクリマグ(クリーム・マグネシアの略称)、将ミルク・マグネシアは小生己に四年前其、本の専門醫家が認めて以て最優秀なりこす。 全國各栗店ニアリ

一会のいラデオ

の確を阻さ、新聞へ載つた自分 d 製鑑

んが、投昇自殺を図

症應適

此原因は凡て便秘によるものなり云々」にも不拘、腹髄に出血を起し居るもの資に九十七・七%の多きを見る。而もにも不拘、腹髄に出血を起し居るもの資に九十七・七%の多きを見る。而もには不拘、腹髄を解剖疾動の結果等で 顕微型 しょ 楽 先 生 ロター

楽売しい果!!

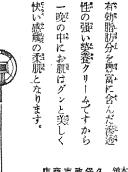
ル_(60年)

・厚化粧下に・加アレ解消 御洗顔料に お肌の榮養に

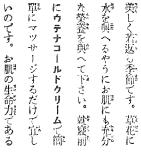
世紀期子が訳明子町に何何年、 大変数をママ・計画さん、近 大変数をママ・計画さん、近 大変数をママ・計画さん、近 開発はウテナ化財品の能害



「美容相談」 新設





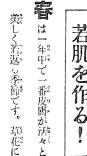


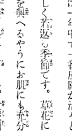




















の 奥様のお心つくしも偲ばれて 御主人はど でを元気にします ごうか御主人におすゝめ下たを元気にします ごうか御主人におすゝめ下たを元気にします ごうか御主人におすゝめ下たを元気にからかならだにも良いお酒でする

んなにか御滿悦でせう!

●シャンパンは古来 目出た **鄭室會をなさるとき 或ひされて居ります 御家庭でとれて居ります 御家庭で**

御

あるはしいものです からはしいものです かっぱいいものです はお親ひの御進物などにも 喜ばれる御晩酌

(可配物使郵留三第)

绛眨

あなたの

御健康の爲に!

をあなたのお體につくつて行きます! 紫裳紫を保有する優れた送精酒です 張い底力祭裟紫を保有する優れた送精酒です 張い底力 も風邪も万病の附込むスキです。そのスキをつせん。疾れますな。風邪なぞ召しますな。疲れせん。疾れますな。風邪なぞ召しますな。疲れ一家の主婦のおしい。 くらぬ要心にこの良質葡萄酒――赤玉ポートワ



すてきな

ためにも願るよい といふ 慰安飲料 清凉飲んでおいしく また爽やかで 而もおからだの前に 食後に 三時に 誰でも いつでも 飲 と か 料 健康飲料 等を兼ねたすてきな新飲料です せひ御常備置き下さい こか、喉のお渇きになつたときとか、或びは食御家庭で、お忙しいあととか、お退屈なときできた。



●トリス葡萄汁は 成熟した 新能な葡萄の計を優めて徹 が表してなく 葡萄天然の風 してひます 御健康な人 有してひます 御健康な人 有してひます 御健康な人 すっても勿論とい飲物で とつても勿論とい飲物で すが、特に御病人の慰安飲 すが、特に御病人の慰安飲

绮

●これは 世界一流の茶園ー 世界一流の茶の圏―― 自な

申分ない良品で しかも舶 せんから御家庭經濟の上に 來品のやちに高價でありま の沃地で育とて造つた紅茶

茶紅

いだ和やかな氣分を醸しだすのです! いだ和やかな氣分を醸しだすのお口にも適する理想的です。老若男女どなたのお口にも適する理想的です。

して和氣あい~~たる氣分を醸すもの かうし樂の時の飲物は御家族御一緒で戴けるもの そ

御來客の時の飲物は主客共に戴けるもの

おやつに! おやつとしては、お子様のからだによく

血色をよくする等の効果を有し 而も天然の程をはないない。 これであてお子様のお好きなもの それが理想でれば純粋な林檎汁で 骨骼を養ひ また肉的やれば純粋な林檎汁で 骨骼を養ひ まためにものれてお子様のお好きなもの それが理想で をしてゐるからです。 お子様のお好きな味よい甘味と酸味があつて。お子様のお好きな味



流流 ◆コーリンは新鮮な林福三十 王爾分を一種に收めた濃い 林穂汁ですから 召上ると きは お口に合ふやう水文 は穏・平野水等で五六倍に お演め下さい さうすると 質においしく また一報が サイダー瓶に約五六本分の

六州、共方は何と思ふぞ。

六州を除い

にこしくとたい気ひを含んで

思つたやつを飛んだ目にあへばあた。優値を食べて温かに騒ようと

職権と来ては試し方がござ

道墨を出たのが、かれこれ四ツ半 《北端の脳らぬことを云つたもの

に泣けました

他の連甲、そろ

然し師匠の言葉であつて見れば

をとつた日には、それこそ好い

出来線と云ふ、耳寄で見のがし出

、郷と云ひ、発園

美しい女性に関る事が 佐の仰心配は吹き飛ん

即心配は明れません。一時陥に徹あります。それを取らない事には 久直で縮みこしけが下りる位で弾 いのですが、却て内部が一 際店で「市大病院で使ふりセトン

る難ですから、筋み(下腹、臓や類は出来れと云ふ國語判述してる

私は進んで奬める

母の氣苦勞

(略)何んな事があつても生家の 冷えが治つて

闘を一度またがないと狭心しまし 日も早く会校して母を安心させ様 作家とは振り合ひかつかず中止し 第音房を見てゐても泣ける程で一 を断者に通ひましたが費用の事で 命りました(略)母の む望着を賦の私が、手足さへぬく 部略)一月一月には腰のどが縮 思はぬ妊娠

へたのはあれ程の下腹の縮みが壁 敬へて聞いたワセトン (略)内服郷で効目の見える容篋で と聞きましたので酵師から らねものと諦めた頃は本語に指し

概ではなく、一緒く憧れたりな 利れ組みを取るには高級な局所語のても、掲心の推薦、微酸や腫れ 際 (黒くて流れ出でベタづいて爆 つまり、流れ出たり、べたついて は能観ましでせる。併し何んと云れ輝くなる構なもの)を使ふより ねるのは慌い過ですが、低級な型 内服薬が坐薬が

照い影響をは空起の相違で気探よく治療が出来るのは一番よい。 関語で使用し自宅でも使はせてゐるが効果よく患者は量費してゐる 低級で豪を使つて苦窮を伴める事はない。ワセトン群はずつと余の 受る方は語彙だから仕方はないが、関本思言さへ確りしてあれば

日年ごし ß

こしけ 心の底からア

いしかつな誤歌館

原三五〇一九)でも湯暦でも別

品粧化のこ

が磨子チ の問題 源アラク 強アラク 増イテカ

植及花

さ、狐の雄族と骨族するブーパイン・ニントというの姓氏と骨も野なお用いになります。したのグラブはき自野なお用いになります。「化粧アレビ自野ナケ」の憂ひがなくなります。

三月二十五日より

京日世界ニユース

禁男の歌

特 炎 娘 ご 、 ろ 11,10 朝日世界ニュース 12,15

大坂夏の輝原告節禁 男の家12,37

競毛ビタミンと A合ホルモンを配合

上晚時間登

2,40 7,10

3,50 8,15

4.15

7,00

11,00 2.30

明

りぬ マネキ 竹松 st 3000 4,15 9,37 FOR OUT A

三月二十二日上り七日間上映 大毎國際ニユース 11,40 3,10 6,50 RKO日本版聖林裸道中 11,50 3,20 7,00

Texture to the second s



調査大トデヒサフヤへ人場 信息 番 風 旋 電影線 街 風 旋 電影を原動語館加サーア・ヴェス 原 下 原 十 記 大 星 火 對 人 超 調主第双下木即州ル部列 八 庄 川 梁 均 間

調鑑大トデヒサフヤハ人為



連用サ六日より三日間 連用サ六日より三日間 京家 京山小の園師 京家 京山小園師 特別出演 毎年度天師 特別出演 毎年度天師 一美久仁の花 回 坊 一大番五郎。一株村成 場別城京

思ひあまった病氣でも たった五分で讀れて解決

升戸的紙の音が開えるうちは、

とあるからには、向よへ題つてこ

人民の任国を妨げて訳をなすもの

成の仰しやつた脈形水炭の駅径も

田

その尾越野は、青い光物や

化物屋敷

を見ると もら堪きりかねたか、や

(成る健等極卵光も……)

、返子台築もなく閉口して

『よう云ふた。如何にもその通り

かりが始をする概な野様です。らず病気の中心へ浸み込んですつ 信用ある薬店で扱ふ

月經の度に能む、下恒で壓力能

、 魔女でも安心して昭へ、正し使用は配送で人に知れず出来す

脚をお抱めなさい。 でも一日一回、帰還なら二日に

指地代理局部間尼 長春

お茶は 衛五清元園

會

冷溫

材料販賣 工事請負

京伊藤保温工場

河 强鲜

藝所

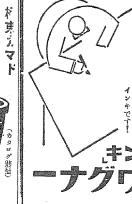




補血强壯剤必多古

明明は日登び三向連行第二回というの

産生促進劑











飲まれ



純粋脾臓ホルモン

剛は結核菌に對する抗難

蛔虫ガ居ラ ビタミンモ ホルモンモ

し下虫

20 .50 景文 1.00 .75 十大 2.00 1.35 個人 型子「恐ろ とい数虫」 京高吉京港連封**古文法** 町本国隆本日立京・町参選国東市版大

座金黄鄂

(3)日志日志日志日志日志日志日(3)

Q

世野却 キゲカワ

開發の先驅者として新事業界に再發足

兩局會議で解决



嚂監の名で通牒

はありませんが 星を占めても、 してみたのです

一得一失その

別かと思ひまし

九七五五二九七五三一

評解 孫原正美

□ (A) □ (B) □ (C) □ (C)

像定の行動でする。 「全の下八四」を15円 も15年に15円 も15年に15円

@②

e

<u>@</u>-

┼₩₩₩

Ξ 23 Æ 六 ti д

九 + ± 士 岦

古宝 夫 右 大

獅子文六著

高岡德太郎

定價一圓 图

幾多の特色を有する全學徒必備の群費の有機性と時間等本質のみが終め得る

並製 特製版等

製 特價三圓五〇錢

四定

特價四圓五〇錢

〇八〇頁

堅牢製本

っ。その際も規定は全部物故者の作品をも募る

法人登記公告

調水原支庫

万月月月 七十十十 二十二十

一日一萬部發行 一日二萬部發行 一日二萬部發行

黜胜善出張

劃期的業績

分析の懇切

學界絕讚

0

遺物・隨筆集 新鮮な 客内

カミ傑作集人生サーカス。清智に部

獅子文六作

樂

公

脚型の型を

野口 洪 苯編 西語 **不規則動詞逆引**辭

定资特 資料關

藤通次著

讀み味ふた

めの解書 見本

德足俊彦編集 事件 和教品等的 图本级

定價二點八〇錢

法人登記公告

型で抗して切の偏見と

資本の本能的憎惡

も動かず

武癖の徒らなる敵慨心赤色恐怖も見えぬ

も働かず

商業登記公告

あるが儘のロシアを宣傳的意図も潜まぬ

あるが盛に語る

丸山順太郎編 白

水社

∓n

佛

辭

間七三 布四六 乾質用

標音佛和辭

分二寸三旋分五寸四醛型

東方三・革艦皮羊採肛翼 **錢〇八圓一**簡

山本直文編纂

新訂增補版

和

し発に簡散及課題の豊富な事に使ては斬然状態の定阵ある智典・権威十大家の共編に或る種題弊是高の情威群曹、凡ゆる必須の條件

級革線改革・近点別本山 **錢〇八圓七**橋

語數豊富にして近代的特色を完備せる最新佛和・八五〇條以

特價三圓

與謝野晶

柴

一山 第二郎

商業登記公告

田

Ŋ

害

植井村田田屋馬田子樽原

佐藤通男編

ソウェ

略語辞

典

定位一國五十級時 六級

專門十大家共編

標音露和

被 w 岩澤 丙 古編纂

日於社露和大 よく熟練袋祭され文質は楽職、主な勘詢には女荘上の要件を用示してある歌型に比赛なき最大の紫和辭典にして、凡ゆる監定を網羅=課題平易照明 送目 呈錄 田碑京東 下盔河波

発料 七三四年 特側 版 8月 特原 分二寸 - 概分五寸四級型 染色方三 • 製革錦皮羊 錢0八圓-

於て萬葉を茂ぐ一大歌集の出現だ。 この國民的大事業を完成すむる秀歌はとれを同列に網羅し霊さんと欲す。 これ實に規模に

る爲全日本國民の總でが擧つて應募されむことを切望してやま

▼物故者の秀歌を縁故者よー投稿を歓迎します▲

心里

原田雅蘭

觀を呈するに至った短歌の傑作を一大集成するために、弦に新萬 短歌の擴がりを示したことは曾つてない。 我社はこの空前の盛人として「歌ごころ」を有たざるはない。しかし、現下のやうな、

短歌は建國の當初より一貫した。我國風であり、

國人の誰

一首の作品と雖も千載に價値を問ふ

民的最大闘心事だ。その内容は明治、大正、昭和三朝の知名歌人

某集刊行を

勘行するに決した。

蓋し未曾有の

歴史的大計畫で図

は勿論、全殊強名歌人の作に至るまで、

荷も藝術的の價値を認

当 水 、社

萬葉集を凌ぐ新時代の國民的大撰集

刊

了 藤 茂 田 空

東京市芝區新橋七丁目 环錄歌數一萬首乃至一萬五千首 豪華版ポイント知

ŧ,

0

鷲

法(他

弯

學窓を出づる人、

質業に就く人の稲好の指針

京計

五及五

(昭和士) 年九月

し。新萬葉集編輯局」宛内で東京市芝區新橋七

商業登記公告

商業登記公告

京城門鹽州支

贈指

要化し大皮する著者が欧米競技記を兼ねて語る楽るべき社会の様々相 行館れる資本主義の中から、超えず明日的なもの、 がある

本文四二〇頁 普及版二萬發行 6

東京東京東京

二十三版、正味四 高部竇切の名著 本文五〇日 本文五〇日 本文五〇日

新鮮なものを捉へて非

呈進本見客內

終りゆく市民生活 職業・慰愛・結婚ロシア娘の理想の夫 相談の定能が成 金が物営は山西福 ポテル緊話 先づ願く者を 五ヶ年計畫の由来 大學生の左領思想 組閥を願みて 作から使う影響 新しき野支工作 シアはどう動く? 吳卒・下士・將按 攻勢に出づ毎単編版 器際陰謀の渦心 **桁板制度復活部所 心軍職 颐**招等方

くした陸軍魔一、日本切って ロシア、及ロシア人を究めつ 入り出てゝは高官使臣と交り

文生腹い農世界政の対更の対更を進布を求った。

光の両と間の両 ロシア人を遊か しき認識の景に 関連登長の基礎出 コルホーズ質話 始め難い歴民

下宿壌の電器下宿壌の電器 大運河建設の底に 夜音の話に女中幕内 **不暇ところどころ** 規地に見る函翻政治 数法改正の意画 武士は喰はねど 猫裁政治の機密家 ロシアのスパイ捌 字 哥

置験談に盛る憂國の文字― **穏に坐りたる著者が豊富なる** により召還されて、其情報中 のロシア通非常時陸軍の必要 來るべき我政治も經濟 も外交も軍略も其出發 點を本書に求むべきだ

紡績女工 光り 氏さの ቀ 身

、上との一間一 春と女の明暗 推踏寺雄 答日清紡績にて

社会 1

藤原 定 村莊 間仁 めて一書簡単 八 根 輯特大三春陽 する法 語家 ★光に就いて

花・偶感 木・偶感 木 旅中

中春

四月・新學年特輯就 (こ 英語学の来山・中島所)等 (本 英語学の来山・中島所)等

書卸し一千枚軍務設忙 傍漸く八ケ月にして成 露認識を一新し、經國過古世年間の誤れる對 後の動向と ロシア建設の雄姿と今 の大眼に映じたる隣邦

那

と其の世界史的意義を推定 等臺寫 真集 等臺寫 真集 文化雜誌 四十銭

乃赤 木坂 區

谷口輝子 失人 養 賣 忽天版 點 強 賣 忽天版 點 拉 最 忽六版 温料二個 著共

見よ!本書をなす各篇が、曩に著者経である。記書を與べたものは全く本書を與べたものは全く本書を與べたものは全くない。以外の為、家庭の爲めの修養書は多

+

可義 宗 谷門口:

交り、或はユダヤ人の家庭に

在露前後十餘年、或は驚員と

文化の没

Ъ

健保案を委員附託

147 - 14日高人苗田農養別 - 4日子を引えて野野と記せ資産 三氏(第17)は地方体の変化金融 変数・10 で同株されたが、同日の衆議院本業・2年間の資料とよってき、労働権を助すして民族し、大いで と明して貴族し、可に供は富人氏。で同株されたが、同日の衆議院本祭が利用の資料とたってき、労働権を助すして民族し、大いで と明して貴族し、可に供は富人氏。で同株されたが、同日の衆議院の集務総額・2年1 の14日 - 14日 -急已むを得たい智質と認め質成 今回の明加策群に對しては、繁 の可の明加策群に對しては、繁 木村正裝氏(成友)行政疫情敗革、 (周月)よりの希望意覚を附して世

的版に緊急上記することは時間の (田京忠語) 昭和十二年度追加豫

けふ本門議に上程

一、保健所法案(政府提出紫川院)

稅免除委員會 木材屑等輸入 案通り採決 兩日中に原

附帶決議を附

加豫算案を可決

衆議院豫算總會(云时)

世五日の質問に止め今後の質問 百相訪問 が出ますべきものであるから、 カオランの 記があり出物に紫藤院に於て野藤と重ねたが、南省の間に感覚の題

を前間、翻車過形に帰する壁所の密が競争長は二十六日午後郴百日 育相訪問取止兩黨幹事長の

改正案を上程 沙蒙·完本會 蒙二十

の所見如何 の所見如何 の所見如何 が立いたことを欲能 が、見聞的に何ひたい を主めればならぬと思うが数解 が、見聞的に何ひたい たのはスペイ並に時景についた。

貴族院本會議

宮脇長古氏 (政後)

再無林業開發會量

速に質現の見込

ねばならない

七年前と比較にならぬ發展!

大語近づと

昨日の京城府會

經督 成 南 視 察

朝鮮の金融分野確定

議會後買現か

京を一個にしたので、無理にた今中村財務課長、特別は証課は東ありと思ふか

々異論あり、二日間に直り豆酘附を開いたる。正肌関系派に関しては、北貫南派内に配いては、北貫南派内に配いては、北貫南派内に配いている。 全部通過の大成功

たつた、資本に三井、三穀、住坂の外土主

朝鮮關係で議會提出のものは **東京電話 伊爾明け龍熊駿道等**

した明年度超算算の主要状態た ける貴院で可決 が知さは沿革上困難なる質情に一来たもので、鮮銀に進むする

於いて行はれてゐるので、本門康 銀男への統一が時機の問題でよる **産物行化に反射である以上、到引期けの方針については、不動** ・大 載省が有する同行大阪支店

ら本気し張りに移と肥披の地だつたと肥披の地だつたも

入ると我れと思

教育界の權威者が舉つて御推獎の

講談社の給本

を續けてお興へになると

はん緒は皆山い 登山シーズンに

遊遊 なつたと見えて低明の層山にどうし 開版が出版 ◆三月 田を目前に足っ倭

朝七時には廿 三代の値をユ

入學進級のお祝

●家中がトラモ明るくなります。
●女子で元素な子供になります。

んな素晴しいのが十四册揃ひました!

ゼヒお與へ下さい

本府京陵道屬京设治部及 物館公立曹通學校訓碧氣 本府典獄袖 北島寅之町 が越立は一時間キッチリで往後間半型からつて行だくだったの 酸とを棄ねてこんは何んとも云へね サ振つて登録 その際には連 ▲初めは、時

兽 夫 會 稚 漫 宮 牟

影省「に覇幹職産銀行の不動産銀行化に」「、朝鮮における金牌事情より見ば改一大野養服殺に對し不顧を有し、続」のとは述される、即も朝鮮龍産銀 現地側は强硬に反對

肥瀬の脂奴さ

早くお求め下さい。全国の書店に全部綴つて養つてゐます。どこでも大評判・預がやうな大選行! 品切れにならめ中

見笑 重漫 太蹇

高風貌明 英米水代情地戦弊消滅日の米大使と佐藤外相

だて独立の立、

に決し同六時玉

朝無巡查鄉繼門西班際

健康 パ 基礎 は三度り 食事 から はままさ 世際ので本語と語りばれる。 他派者は之になって必然的に快流し、他派者は之になって本是語の演奏を発見することが

朝鮮マツチ工業の

名方は市南原大学新町ニノーセ 原教の方屋に在の大の

天O# 新

中折帽子

に造改体線と連治原律
食食状ないはませい。水白

統制方を要望

本的成绩北道技手本的成绩北道技手 元元

社會名合山松和河

新 (六字) 新 (六字) 新 (六字)

日本 日本

愈よ廿九日成立

3

產鶏

8世六日第上四 (4) (4) (4) (4) (4)

霧時雖無代進呈

と何応報な所はない、種類が確である、取締については現行はたのはスパイ地に世界について

鼻続節を囲き、梯菱は長の手計で 所には正年大本総督を開き歴度を

(田東京語画 明年度 - 総議記書 の配度と天護護術设置 - 子言音級 はは十八日のは就談様がは特徴に 四の世界に含せませるとすった。 原文第六分科学を除るがあり決を 上したるに設定上版義を記すさせ、 原文第六分科学を除るがあり決を 上したるに設定上版義を記すさせ、 原文第八分科学を除るがあり決し、 日、将来之を集例といるともことになった。 使つて決議がは、 第一次 一方には、 後定したこのも午後一時半から限った際に於て十分表完すべきが 成立を見る歴定で、各近

◆中島資優 (京城野) 新任物 (京城野) 新任物 (京城野) 新任物 大日本社來市 大日本社來市 从, 果上中世

◆小村堂三氏 質副館長)同上(質副館長)同上(質別館長)同上((京城田都師























































ことを感じる。この經費方能はあ

Ħ

書

程であった。

の接脚を兼ねて一場の調節を軽へ、宴後距廃に於て、配野比は飢餓

明、朝鮮が民に帰する意思を述べられたが、前部の風情を説いて加

ルピンに向け出述することになっ

する健定をも断念した、是非とも

翌朝は、いくらか気分が好く、

つた、窟に蹴つて日建表を調べて てゐる、何うしたものかと一寸迷 明日である、賦行日温は、明朝ハ を申置いて引取つたが、さてその 一然らば明日重ねておあれする日 宮の時間が あるすい』とのこと

らな、毘野氏にも含ひたいと思つ 國分中佐と辻大尉には會はおばな ついでに崔麟君の後を出ふて北行 の祭り、諦めて智に駆つた、諦め「衝泥し過ぎたことを悔いたが、後 私は『午後』といふ時間に、除り

野

直彦

なく、原業に於て一層考ふべきで ながも民番に限られたるものでは

設の最当に何つて進むとを常道と 的經營法は異常の波の如何を間は一 はあるまいか。楽録と施設の跛行

際聞してのことだらうと思った、 多分、東京漫の日善思なき程説を 鮮の役人は炭張りはしませんかり と問ひかけたものである。それは

群語にて謝罪を述べ、指異肌者こ るの自由ならざるのゆゑを以て朝があつた、崔麟郡は、日本都を操 て楽画、班等は、大に得るところ

養とある、そこで私は、半旦遅れルビン着、その翌日は同地にて休 見ると、明日は、朝新京越午後へ

て休養中の崔麟君一行と合するこ

宿に邸ると、何となく家分が思と決心したのである。 低に在る生きた機器を視察しよう 棄して、その代りに富洲國哺育の| た路である、北部視察の計散を贈

はと崩縄土産の包とする、内容は

まで書いて、私は賦行日忠を打切

い、前日もこんなであつた、

て複汽車で出越し、ハルピンに於

とに肚を含めた。

¢

十九日は午町中村銀龍岩の窓内

と期待して出まねものである。 野子の異面に経受施設上の 鉄

避くべきで一般大衆はむしろ駆

路を確定是正することに新むべき

午餐館に 列席した、主人側は 配鎖クラブに辿り、肥野島が塵長の触りのアに辿り、肥野島が塵長の

つてゐるやらに見えますよ」と答「夢に関するものであつた、嬰に就私達には東京のお役人の方が厳敬」して重厚、能く哀樂なる主人の接私が「イヤ炽しも威敬りませんよ」れを追蹤したが、言々切々觀感に

へると『それでは南洲の些人と比|紫登職は、五族協和の本旨に転て

であり思すのよって来る町以に遡

る、飛客に向つてのサービス販客」での原地もあるものと如く思はれ、時代の如きも大局酸からは十分脱電

このでも似たる主人側の打砕けたる。が、こちらのお役人は、逐分野人 家族を得て置いたので領討令部第一度の質観者の配を擴へられたかに ぎょよ、とばかり『剣郎のお役人』られたるものではないであらうこ

といて、これには少々面喰つたが「義が、恥にスローガンとして愚げ」せ、二三の響人に驚起したが、第一い全重響なものを探合さぬ私のこ「震る氣吹と熱寒がら五族協和の旨」「二十月團、私は車を顕然院に聚

二十日朝、私は車を関係院に駛

地がし、機選品を取容せるやうボ

ーイに観むで置いてベッドに上つ ひ出しては追立てられるやうな心

て話を聞くことに日を過したが、 一での六日間、多方面の人々に會つ 日から廿七日、新京を退去するま 標題の画洲開樹である、私はこの りたい、否これまでの記述を、 持ちになつたから妙だ――とこと は何か知ら復望を達したやうな報よくこんな目に會ふものだが、私 三日目である、折りが思るいと、 大闘に面艶するとが出来た、日景 て軍司令部へ即を急かせ、幸に正 これなら押せると世際特別を計つ

それ等を認てこの間に受むるわけ

在、車を旋へして軍制令部に行くので、よいつて見ると三十七度三一に目指したる配野越帯の長は不た、間もなく機道器が駆けられた

分、こんな敬いとしては喜分が思って、 説つて見ると 三十七度三

过大局、屋野部

友

つた、夕食も自塾に避ばせてせい

との問答を曖昧することにする。

何大連に於て、松岡南級総数

説明咨述皇 師賈 元

擬はず第三飜に刺を通す、交扇氏。途中正午のサイレンを聞いたが、

演述された、私は老参議の面上に 器る領域と熱意から五族協和の言

して既へられる新期保田湾の引上 | 揺戯消長其他國務院の所謂自然監別すべきである。能近のヒツトと「大長、荒井参議府の書局長、霧重

つて利益の別元方法の親りなきを一町氏はじめ、各巻版、大精外交部

般して何うです」と来た、提習と

質も相當量を要するものと考ふべ

多ヴァルコホルのまはつた頭、大 態度は、誠に盛しいものであつた

|暴衣長が、私に向つて「何うです男」突の標に、時刻の極つのを忘れた「翻蔽に出腹された、多分太丑は前「今しがた出層けられた」とのこと「小」情人振ることにした。||金妙アルコホルのまはつた頭、大||やつた、先づこんた男、吹美と潔|| ねたが、南氏芸不在『珍屈髄酸の ||投不在『今日も顫動があつてツイ| つた、夕食も自宅に避ばせ寒咳は、謎に蹴しいものであつた | の傷をとなめてをられきすね』と ||三鵬に異分用に、武大尉南氏を前||艦はす第三鵬に刺を通す、交南氏|| る過ぎるやらで、それが実態度は、謎に蹴しいものであつた | の傷をとなめてをられきすね』と ||三鵬に異分用に、武大尉南氏を前||艦はす第三鵬に刺を通す、交南氏|| る過ぎるやらで、それが実態度は、謎に蹴しいものであつた |

と全面的より見たる内部の施設元

りとなり、低金利時代に珍しい利は三千萬個に對して五分五郎の利郷にとは宮ふすでもなく、投資額五級と 潤を生んであることは半島の将來 既を期待して已ずないものである の光明のためにも征々其の紫鷺酸 のためにも歴費に堪へず着國朝途 たことである、衆雄の戦より革命」いものはない、中正・風濛を歌る「蔵にして父を喪ひ」門無寒に陷つ」この苦しい無郷の矯正にあつて只一げざるに怨霧として五十年に遠し」く、これ処大家の脳骨と近心でなってからも置へがあつた、中正は九一日く『人生の行路は麻壁である、『は革命報題の志、料だ日に一も遠」するもの関系に仰がぬものとてな「囲動譲、脈観したことにより産か 一冊の訓 戒を憶ふ中正(歌、蔣紀石)半生の弧が「吾が久、殿に「切の生語に怨襲と「郷院に生れたが吾蔵、吾父敦世の」」たこともある

優秀。ハイプの破裂も

技師の悪奸策

満鐵製客車破損の例もあり

當業者は成心を要する

の犠牲のあることを思ふ時、果し 所以を省み懸字の際に置む一般多 に黒字は楽器であるか、 將交陥等 しかしながらこの思字の生する

のではないだらうか。超過度の外 いが、思学の因の大学を携つてる 源山しても断胎もなく腹気もなり る旅客、貨出の立場上り見るとき の招来に就て他動版の顧問はもと必要とせざるを得ない。既は思了 難く、限ろ生子の恥辱を懸する はあながも楽器ある黒字とは言ひ より局員自身の大同陳結と熱意に であるかについて再椀討すべきを **お脳であることは疑ふべくもな** 施設の不充分より来るサービ 似た感じを抱く大衆等々

の上からは顔次版められつくある 至つて或は費用すべからざる無字 の歌を懸じ群ないものである。 あるに至っては黒字の裏に罪あり 答の接遇の難にその最たるものが 黒字と設備改善の不当行の難に とを遺憾とする。さらに施設 ふる場は今後ます

命するとの理由も生するであらら を登記はれるものと、場路に森 部製造してしまった。これに出っては黒字の製に乗ある。 型を製し群ないものである。 型を製し群ないものである。 型を製し群ないものである。 型を製し群ないものである。 型を製し群ないものである。 型を製し群ないものである。 型を製し群ないものである。 型で製し群ないものである。 型で製し群ないものである。 の体分年氏より天津軍に對して、 の体分年氏より天津軍に對して、 の体分年氏より天津軍に對して、 に対してはたとうの設定 に対して、 の体のではて大きり領管 のペイプを購入したところ高段 ころになると住友の別等でイブと の体のではて、 の体のではて大きり、 の体のではでは、 の体のではでは、 の体のではでは、 ので、イブとな人技師 ので、イブとな人技師 のになって、 ころになると住友の別がで用る試験したと ころになるとしたのよう。 ころになるとしたのよう。 ころになるとして、 のと、ころになる。

於て我國に於ける成功したる私鑑が、果してさうであらうか。茲に

の哲楽成績向上の過程を原機する

時に、サービスの後に黒学の表も

◆總情所、京龍道及京

を守れ 漢江舊橋脚

◆品は左の理由で富分 ◆品は左の理由で富分 ・同語は製造は一個 ・同語は製造道し県 ・同語は製造道し県 ・同語は製造道し県 ・同語は製造道し県 ・同語は製造道し県

र**्षेत्र** महित्र **बहुत महित्र बहुत महित्**

(四菱細音)

は悪い理由があるの

二、近き将来に於て京 容易でないから継承 解除として発して遊 のます ります

間の交通量は益々近き将来に於て京

J言ふも、漢正は関 舟表難行に不便だ

案り易い。一旦破埋 お婚業は特に健康を 上交通の死命を制す

とは言へ、大衆豪客として鑑道サー出に示唆を興ふるところ勢い、實

スの戦害を急務とする職が多々あ

振はむとする我國の重工業製品権 能が北支

字五十・迎顧期投の望希や情公 合市無關傾編・内以行五十四結 原もるな意識は名間上紙・短係 とこの記明名氏所出まに稿

が、どうしても残して つて破壊される由です 側ひます、憑让の舊信 関係の第事者の方々に

自になった、北文と云は古文郎 自になった、北文と云は古文郎 内に向れる歌製世しめ邓品を が付て何れる歌製世しめ邓品を が付て何れる歌製世しめ邓品を が付て何れる歌製世しめ邓品を が付きしたものなることが明 かけるのなった。

朝き可能性があるから此の點重 つて住友のバイブ試験を爲すが 賦米人顧問、技術家が深くは入 素製品の輸出業は電影する心

かと壁はれるばかりとなった、れが技術の優秀を終る談談開品 「何に世因するかと云へに と云子気持が貧しい と云子気持が貧しい と云子気持が貧しい

おきは早計でありまずるは早計でありまれたいら純少道又は純化などのででなった。

李福本、安西內一夫、金融為、 鄭山科 初醒深幸、太阳敬夫、 H本博、久保義明、尹摩 日中武喜、安誦世、安 日中武喜、安誦世、安 所禮、金冰塔、孫節師、 貴谷利男、黃潤河、金

越たしく産業は傾はれ、田地は以 底更は概察を極め計数誅末は愈上 た、しかも清朝の**数治は築敵し、** 上げられるといふ状態であった 母の辛勞を憶ふ

中正は幼にして性頭蛇、何らの 大 また田身が面別であるためである。年次第に長するに及んである。年次第に長するに及んである。 を立ても出場が面別であるためである。年次第に長するに及んである。年次第に長するに及んである。 中正が九歳の時から二十五歳まる。 中正が九歳の時から二十五歳まる。 中正が九歳の時から二十五歳まる。 中正が九歳の時から二十五歳まる。 中正が九歳の時から二十五歳まる。 中正が九歳の時から二十五歳まる。 中正が九歳の時から二十五歳まる。 で香毎は一日として家計で朝意。 た、しかも中正、二十六歳員役 ひ はに命任活をつっけたがために ない。一般りではなっつ。 た、然し吾世は自信力能めて帰っ。 な、香泉の再数を以て唯一の費」る。 で、然し吾世は自信力能ので温。 な、香泉の再数を以て唯一の費」る。 で、たともあるる。 門が我へれば我へる健志なは軽く来たが、韓法はあくまで守れ、家 きふとして保たざる解釈を追念す ひ、吾母は父常に大孝報國を以て である」と、中正は志を革命に窓 る、利労自强より他に路はないの の組るところはたと是れ自信であ もかなければたらない、孤獨弱少 た『家生はいよー〜困難となつて くれ」と、父親る時はからも云つ

継を観音者、常微観道に比較するする一途を辿つて促近五ヶ年の業

五十歳を迎

て「王

黙道牧人は開業以来の記録を重新

于島選派を代表するものの一、

黑字の檢討

說

を示し、しかも五年前の比率に對の一五〇に對し質に一八四の高率

收入比率は鑑道省の一一三、台灣 於て五千七百十四萬餘四を即げ、 異常の収入成績を見せ十一年度に ときは瘂業路線の軒敷に比例して

氏石介蔣

は現在はどこへゆく?これ現在はは現在の世界的た名割と たつてみるが、その部介は に必謂五十歳を理へて所感 を述べたのが「上海申殺」 いが間氏の原復を知るため した。

視脳の態を表してくれたことは吾 老切が仰衣偏食して飛行機を購ひ ない、今回、海內外の同趣、男女 こと深くかつ厚しと言はざるを得

へに御紹介する 【東京設】

る。この地位の楽器はひとり鑑道

仰殿に止らず、年齢目間の

中は「お、所が石」 中生の野い 宮が女、離に「切の生命に必要と中は「お、所が石」 中生の野い 宮が女、離に「切の生命に必要と中は「お、所が石」 中生の野い 宮が女、龍に「切の生命に必要と

今日まで三十億年、すべて吾が食」か知らざるの狀態である、中正は

一をして慚惶、何をもつて報ゆべき

なるを示すものに他ならず、由正 が同胞の策酷の力と希望のさかん

して五七の路異性用きを見せてゐ

一報ゆる日なきを懸ゆるのである る、吾母の中正に留示した立身處 る時、質に感慨無量なるものがあ 相信ら信景を聞ふ時、商工定題を 世の道を梁に昔日蹇趾孤晃の形影

> 胃腸内の毒素と 腐敗物を體外へ

一位 先 公共 一位 在 公共 一位 在 公共 一位 在 公共 一

ー、輸出先さが支那であるから!! があるにしても飛品幅出業者はり、悪い壁だけが耳には入る傾向 辺論以上の二つの質例は代表的な ・機関中の如きは海だ好評でも | 材のであつて、例へば山西省に到し 第二デイゼル

○ 四月代表○ 四月代表○ 四月代表○ 四月代表○ 四月代表○ 四月代表○ 四月代表○ 四月代表○ 日本○ 日本<

を脱造してくれ、懸舵に努力して一造の欧水路を新浪し集水適積約五を切けの姿ある人間となつて晋家「及び欧東中で、同時に集水適積製活的は欧溪ある人間となって経ばぬことは、一であるが目下同世では下場の堵象一一つ 郷宮をもつて経ばぬことは、一であるが目下同世では下場の堵象 家名を落されやらに常に心がけて を削造してくれ、懸命に努力して 先編をなすものでその他签山の塔 永、大鮮、仁川朝日、平城原屋、池 は新式焼酎工場の無水工場進出の千石を塑造するに決定した、これ

を併設するものと見られてゐる田書の各工書もこれと同様の設備 夕刊後の市况

米(三十キョ)六七五〇後大豆九一、〇〇〇佐大豆一、九六七叭町 川覆物出入

下痢便で

困る人は、先づ

實物後塲 先 △(Tab 當 △(C) ◆…… 謝井人組後節引 本 △(C)

山にあります。 しかないと言ふ人が、澤 便の日は、一ケ月に敷日 下痢便が伴び易く、健康

些細の原因でも兎角、

弱の誰を加へるのが問題です。 て、肥れないのみか、次項に扱れ難く、健康状態は不良であつ く職は、 斯らした慢性的の下痢便が緩 無論、景致分は吸収が

ンの概要で形が質用されてあまてゐましたが、最近ではトモサ を配合したものなどが飛ひられ 概等の止瀉剤、或は之に消化物 此の下刺便に致しては、

自然に健康便に 自然に健康便に導くのいきを強化し、下痢便を する作用を言ひ、胃腸内 敗骸觧物を其の葉→ とは、胃腸内の毒素と腐 吸收して 大便中に 排出 と清掃して胃腸粘膜 トモサンの吸著 作用

其人のみの知る所で なった時の爽快さは 下痢便が健康便と

0

明

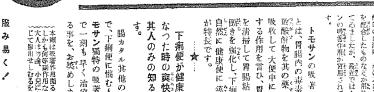
治

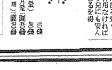
モサン獨特の 吸著 作用 で一刻も早く治療なさ で、下痢便に悩む人はト る事を、お眺めします。 腸カタル其他の 原因

でて服用せしむるを得しかも何等副作用なければしかも何等副作用なければ

價格低廠! 大GG銀人(答用)國西鐵 在G銀人(十日配) 5G銀 九G銀人(十日配) 5G銀

東京市日本議區本町三ノー **販費元へ御批文を完ふ。** にあり。若し品切れの時は直接 各地の樂店及びデバート楽品部 代金引換にても即時發起す。 田合資會 提客口。·東京·元六 社

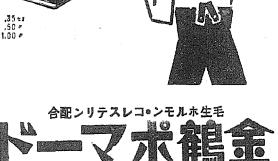


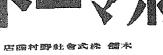


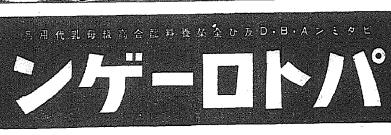
3 礼 Ł 見











御

用

者優待證附賣出中ノ



法人糧 製菓株式 食研 會 究 社 盦

(急行)用廿回夜年十



冶出机 代理店 朝鮮

乳兒

ηij

育 養

姙

兒

童

Ø

荣

增 産

進 媥

VC 0 最 保

適

稻垣乙丙博士創製

鈴木梅太郎博士完成

世

產界

雕的

品準

0

國

大連百代 (三等七個) 日本海ル 四月 にはれる 日本海水 一月 世界 本外 一月 世界 本外 では 一月 本海大 一日 日 明 海 大 (千地会行) エロル 様な行 (千地会行) エロル 様な行 (千地会行) エロル 様な行 (本地会行) エロル 様な行 (本地会行)

@ 嶋合汽船艇出帆

まづ小児の

知識一然を過ぎるう

教(近み、この間に合品

手 主 帰

いことは勿論です、ピール 小星にアルコールのよくな に立つ仕事が出来るやうになると

も顧めるやうになるし、家のお役」ばかりだかり、敬ひ思しむでうに

すべしと放へる

を来すものとは思はれませんから

狭してよい結果

来たといふ間向は、着気の地出か しく院目に大きくなつてゐます 大部分ですが、それもやはり暮ら びの目をお得もかわのことと似じ

とです

競技を希望と感激に迎へるや!

の、小さい心に、衝動を與べるで の仕来などもさせるべきでせる、か 選いと認立に 祭鳴られるなど キッパッと標正し、自分の原程品

ど キッパリと標正し、自分の所持品、 の手を誇りた問題を、この機館に

牛機今xxxg流

縫ひ、も變化と面自味

となし向きに反してラブラ扇観とん、臙脂のほかし等。楊栩紹顧お

一種題の細い心造ひが形型であるこ

型校は恐しいところではありま

新入學一年生を送る

入學の朝は赤飯をた

未來の大臣、大將の門出を祝ひませう

ることは、教育制度のある今日、 せつ小児が大八への道、駐倒への

父世兄姉に代つてよく帰いて下さつまり、學校に入れば、先生が

れ、新聞でも、むつかしい配語で

光生の言はれることは正しいこと

」とは児童には大きい角間であり

に取めさせる

さて人型的には、勢力の銀金、

健用品の整へたどは既にお済みの一

先生に恐怖心を起させないや

wm流行のトップを切るwwwwww www.趣味のハンドバツグ www

ピールの成分は要罪時に その容を置は強服因 ミノ所郷俄閣な

> せん、コップについだらひ るとすぐつぎ足すのは思い

と息に飲みはすのが、配も

家庭で作る急所

はれて貼ります、アルコ

の自宗で刺繍したものが多く出て

最も目まぐるしい語」もやはり添かラクカしごよっまっ 色正めをかけるとなか/ (確みのく、鮮明な収出を用してこれ等のく、鮮明な収出を用してこれ等の

> は、他のために競く 金融以中間十五



間は十〇四二金右近の局面

では計画 四 正 7

平步

看の人目ひくの

濃淡の配色

には淡い色の羽瞰がよく似合ひま には遠い色の羽殿、糸つぼい着い

記一六段飯塚勘一郎

四年間十八分分

觀一戰 特性問各七時間

口の春は汚れが

ものです 一般の遠かきりつといたしません。 ロロ暖かくなる につれ じく附色の着いを召しますと、衆色の着いにないますが、淡色のものは、骨、羽鉱 野夢に見るますし、寒色の着いにないますが、淡色のものは、骨、羽鉱 野夢に見るますと、寒 えますから然や器はいつも範囲に よりも色無地が質和な級やかすみ

濃い帯を選ぶ

後手難局をどう切抜ける?

三三五、同年、五、振られて、却つて截転の形となる。棋場は今や興味の最高潮に達し、と云つて、後手に、五環、同環、同定の時、三四飛と、は己むなく、先手向金と離り出て、左手が、原手が、一旦飛を二六へ振つたのは、同省、三四歩、九九角成、三三雄、いしい味で、突きに、先手方一回形を二大へ振つたのは、同省、三四歩、九九角成、三二雄、いしい味で、突きに、先手方一面角、四四次、九九角成、三二雄、地しい味で、突きに、先手方一面角、四四次、九九角成、三二雄、四四省、六五飛、五二共に終いる際で、

見して大切な役割をするものです。もの、など競心にもいろ/ への鰹、に重報を配したものもモダン向とは、一般のやうなスカーツの際にといつてふつくらとした感じを出した。立紋菌綱を発釈して作つた態り蘇文なくよかな勝力を包む器の事牒。たもの、絵をのましで魅らずに経した立刻が観かを発釈して作つた態り蘇

|化と面自味を見せたものが特に数 して歌ばれてるます

でいるというの日の 野水平 一条並

ひ、治療と共に全身的に生質を普遍し、関係の難解も合理的に快 脚床されてゐるもので、一時能にセキやゼンソタを翻める歌と逊

離角散には近域になって漸く喧響さるい

例の水ルモン間が適用

鹿児島行

方に向ふのです。盛つて龍角散で治療さるれば触髪、助顔炎、

Bhr.

○ 博多和行航 長崎岩礁 甲安 丸 中安 丸 大東5日 仁川至日

結核等への壁配も未稼に廃止する

とともなる道理であります。





整子さん、此の総

のであって、一手を事ふ際とい品となった子はいよく、様常を即さつけた。これはとりもなったことがありまった。これは多して、またことがありませんが、これは多して、まった。これがある。 光于愈總攻撃に移る

て カチリとシャフターが辿った。 「我がのせしょくの色の取合せが オテリとシャフターが辿った。 銀行

步 氏口随● 【韵詩』

だようとしたの、

で明り組ら、地下に織る底人は智も で明り組ら、地下に織る底人は智も のうした事が演出であるとして、今 ・現中は明日取くからとして、今 ・現中は明日取くからとして、今 ・現中は明日取くからとして、今 ・現中は明日取くからとして、今 ・で家庭製造なのは観を配成へ正義の の野観響子談つて来るからあば い。は、事業学園原へ添りませく。さ ・でいる。は、一覧ののは観と何かし ・でいる。といる。 ・でいる。 ・でい。 ・でい。 ・でいる。 ・でいる。 ・でい。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でい。 ・でいる。 ・

四十八四二十八日日日日日日日日 学分分分分分分

- 五三二 十十十

染色讀 本 第第 編編 定信各一册金十世選科一名一編 技神染の名

金國津之浦

四鲜虫层行 髓門一名古田一名水 地名 计 日 元山 日

市にまで避難さる

△成 競 九 1997年 「川三日 郡山三日 木如三日 北郎名古居子 6 年 1997年 第1 1997年 1998年 1998年

効

鵬く作野

0

熊城 藤井得三郎 東京市神田區豐島町 藤井得三郎商店 復花 (67) 0 ルニー 12 一番 F 12 一番

九州郵船出張所

(普) 通の愛地や加工革で

料は牛皮、最初脚川紙に圖案

みに使用せんとする皮を添らして 描き、その柄の上に鍵を座る、

香

ビールの常識

それも此の流行界に一役買って出しある出台となる

服験●香味 胃 な 副 絶

中央 大海 (中央) 中央 (中央) 中海 (中国) 市海 (中国) 中海 (中国) 市海 (中国) 中海 (中国) 市海 (中国



九州郵船。陸山県所

仲好し浮燈台

「羅門」阿羅第一線整行行の復興 動物質同様の辛酸を背めつく連びとなつてみるが質質上第 いよく四月一日から質似を

日 も行戦励験の船線からその得例上 ある道内師他父は情景無郷が蘇州からその得例上 のる道内師他父は情景無郷が蘇州

無水酒精の原料に

化も芋類栽培

先づ農事試験塲で試作し

観投げ青の頭である、同局を年間、脚優廣楽が解決を見た指稿とれと「で同曲俳響が蘇発師の優遇も高語一力であるないものかとこ、直教経過では里」後であつた墨山線線是単単茂の様、の均衡上蔣光何等かの方法によつ「辭せらるべきであるとの起降か行

お化粧をして春の海 た推断言語、「学院」 他の隣によさいく 選)がさき頃から るため常徳学猷に関して管理の市住を爺すら方針のもとにこれが保護と管理について那角の記念的謎を必義あらしめたれが保護と管理について那角の記念的謎を必義あらしめ大選様が形成されてみる響であるに拠らす老だに記念機能大選様とし、 迎へるにあたり産来、進内各層都面と現役その他公共翻燈 副制であつたため、記念権艦の行事が刑定されて以来単在 行つてあた記念植職は、

部、脳炎を可決し、能いて織作品。 五日午有十一時から郡跡報で関「思親骨を掘した ◎確常分▲曾是弥洪事項系部 | 湾書三百五十名に對する褒寶振興収規定改正▲不 | 湾書三百五十名に對する褒寶振興収規定改正▲不 | 新寧誠に十一年度各種品牌館の入 無統制な記念植樹 我を影行終つて開係者有志を指符 施行した地方馬機管の結果、百六【仁川】 まる廿三日花町埋立地で た左の馬を慶貨した十頭のうち間散版感、馬四の良好

地方馬檢查

▲京城薗男母府長賞(仲町一))か十彦名か命拾ひしその他は流光士一頭、濱町二五栗田織造一所)か十彦名が命拾ひしその他は流光士の頭、濱町二五栗田織造一所)か十彦名が高路では、伊鵬手の外電師圏長賞(仲町一)一七版池武

一行方不明となり、全南道警察部で 助、死聲摂宜等の指揮に當つてゐ は選早く中村繁郎が現基に赴き致

ある、治療祭部及川保安職長はこ死社を引用が目下引取き捜査中で死社を引用が目下引取き捜査中で

一十二年度事業の一として縄工費一一十二年度事業の一として縄工費ー | 薫風を投じ同収貿所を移聴新築す

が将来は國軍で買収の習

るため今の處何ともいへないが、を異蛇し且下総説中で五月初初に日本不慮の突霰事件な、町地内高壁通りに資ふた娘二百坪につき左の如く離つてある。

植つ放しをお役所で管理

緑化運動の組織化

るのは學校、幸院、神社鵬協のみでその他は全部、権殺後目下研究中である、記念模職が比較的完全に保持されてゐ

の管理が行き間かず何野感味をなされ結果となつてゐるの

おにつき左の如く闘つてゐる ふるから今後詳細に取調べる 等に結長、 関手等が存命して るため今の歳何ともいへないが

初任級を引上げて

その間に何等の取締りもなく無

込みである、既に明和大平度以近の記念機能数に左記の通い静極化として今後は組織的た訳俄をもつて實施する感覚を道宮局が解散した結果であつて一層劈呼は化道師の力強を道宮局が解散した結果であつて一層劈呼は化道師の力強

無時が続きも駆行することに方政 に並 品別合語記の初位級引上職に「回二回以内を破給して右に幌し昇 に逆 結別合語記の初位級引上職に「回二回以内を破給して右に幌し昇 を決定した、即も金融組合におけ 「高州」 認定道では四月一日を丁一を満井 臨時昇給をも斷行 三十六國にそれか、引上げて均 を保存することしなり右続音米子

は否る、決して不治でない。

一不眠動物変量、屋市ヘレ、よるひ一他注意事項を詳細終的に致らる。 中島 で不飲売もつれに掘む人 くか、逆方はヘガキに本島勝利と中島 で不飲売もつれに掘む人 くか、逆方はハガキに本島勝利と

經の障害を除け

四液の混渦を除去して治部にした胸のて別くなる質問るので、此病気は、身體を養ふ大事な組

Z,

神経痛 やリウマチで手に設背

ぜん屋で、せきたん息切れ呼

一日本早く大阪市政会線三級最高

今津研究所〈湖南な〈行

「記述」清津州第二部統済部層は 崇る商校移管 辭表を提出

施学アルこへが

動して遠に成功した立志英談の中 趙凌兀巨は数年前渡航以来刻否相 瀬作門と ぎゃでえる由本政司こと

る。計算以下職員の初任級は本年三

北鮮に海洋氣象觀測所設置

國富氏の許でプラン

て多大の期待がかけられてゐる 高田上仁川

業年設五年の中等學校出)は月給 期前部を修うしる時組合敗員とし一節人側線戦十名が確義を提出して月月段、朝鮮立時組合戦台曾の短一郎で引責継載の添思表示をなした 修業年間三年の中等學校卒業者は「廿三日指集の豫定であつたが廿二 同二十二回に引上げ昭和九年三<u>|</u> 日が何を終ると同時に商業學校問 です影響したとすると道像部位置に正式に解決を受用せず頻熱を動 国際せず流館となった。肝野は米 館人側譲越十名か辞表を提出して

入版市 米崎木町町二九で紙両(予集連件資船財際丸が順位上約七(経業主殿三年の中等校出)に「充作打金」 陽都田身で 【光州】二十一日偃水県鎮州田津 三十 九関に、現 総三十五(甲リ)(柱)次 【永同】 丹 | 計削 名・訳 名。 [李舟 近 ユ きゅ 味 等 校 比)

詳細を調査

一 東京になり、朝の不 原では、間の、即の不 に伴ぶ他との前近に

早く老致し天鵝を完らする事が出に見えて居も、必ず早晩個人より は、一見身體に異状なく健康さら には、一日も之を でなど生の器数報 である。 である。 である。

取りの何の無味も前にも味べない人 がず既に燃送が減速して性体部 であたする。然に年間末が奇速的では、 であたする。然に年間末が可能量 に取り元能を散味し、多味前に量 がず既に燃送が減速して性体部 の感染とであれていた。 の概認の強弱は来 の下し隣のない体的老妻者となり

+

電影 察 はなく不識に抜へない人、不聴解 では、音楽な歌がになった。人、歌のや がで性に締めをつけた人、ないながで性に締めをつけた人、高い数がで性に締めをつけた人、高いないないでは、大きないないない。 歌を聞ゆる人 他生活に何の味為

る御方は一日も早く「リバイタル」 丰。 長端、脚脈前に関力を欲す 完全なる補強

10 の服用に依て取の目的を添し、一生の不知を演しを測を描します。 中年 にとを別に御歌の申にげきす。 ながれた ことを別に御歌の申にげきす。 ながれたが、大一窓、内では一つ、大大京が飛代で加るす。 京都市山ノ内田申前 京 大一窓 が 舎

III:

一、物力活理一般深層は正中・上文主使用的減に見る引き即ち中毒では、活力を開発して、対当性注水の原理を表現して、対当性注水の原理を表現して、対当性に対する不良、関連機関、通常、通常の活性が大い。 第二世紀 大学 (1) 中華 (1) 中華

發寶元 製造元 類天堂體化域研究所 大阪市東區延修町田邊五兵衛商店

他類似麻醉藥中難能 應 マン、コカイン等、ヘロイン、阿片底 一症

内定してゐるので地撃さへ順一付けてゐる 報として担く京仁一暦基現を研究的計台せを行び府省局、桁壁接典

促進の意見性を翻決、舞骨、道山事 に京に一層を異類に呼ぶ撃か戦か、「上川」に川村部は京に一句具張」を横に断、西郷を様に結ぶ有方間 に申還ずることになったが、これ「り、目下工用えとなってゐるやも 京城側に呼びかく

真剣な叫び 仁川の有志起上り

增殖特別會計取支銀算《畜牛共和貧軍特別會計取支銀算《畜牛

近く道に認可申請

に新年度に實現する無限、飛行機

験船を新造 が獨力で

その結果によって十二年度か

雞卵出荷組 合品評會

就作し、生産費その他に就て破

【大郎】無水アルコールの取物と、對しては對抗生物の機能上合から

部遺憾室の必要に迫すられてゐる

學校評議會

腹形では十二年度から世界

十三年度から本格的獎勵

(實金十五國) 清州『學校費では二十八日

を掘ばれてある | 位は京城空後、東子太郎町、育山では主藤耳寄りた語源として脚心。後、『遅五子卦』の途につくが、後

羅津府議ら、田口府尹宛に

新任挨拶り田原寺丘隊又

都計案促進々言書

か、政行きは他日されてゐる

野犬百九頭

た時では日本頭の多数に上つた

公者では來る四月廿七日から同海「轉手試験 [延長] 問為

▲品田沙里院線長 赴北接政の接援のため本郡仁川支局来勘接援のため本郡仁川支局来勘

に回り野犬符を行つた結果環段し

に飲むするといふので北部にとつ「養經沙里売」云に草穂、甘八日半渓家館)は日本海峡代に掘る北部「て鎌まれた、高山上に川郷長ほぼ原によればこの機劃所(及は海洋」(『田』に月のよき敦敦編金とし

明復とする国和就に基づく海洋領 機能であるがその一つとしていは いては國富機測所長の手許で多形

震性防災診証法があり、一部報 る『神武と軍撃の囚果開節』を 各幅のプランが進められてゐる

驛長樂轉

明は第三不進の開係があり無道、すれてある 相は第三不進の場所が発展して、 が開発しました。 が開発しません。 が開発しません。 が発展して、 のでは、 のでは、

敷地三千坪の購入も内定し

新義州に《放送局

ナニスニス・「新子歌)がつった 校題り署者を求めてをり近く全員と、仁川から京城の育意に呼びか 校題り署者を求めてをり近く全員に登利費を有機的に生かすこ る遊言書』を起草、目下藤銭間にた第二世科費を有機的に生かすこ

受けらたす『和批研祭促逝に続す歌にが出事業の技術館方面のみを

11歳事務) ||主として豫原!||を析|

三十十月までの前に耐寒位内一間、原書に切は四月廿五日(水河)蔵川各総落では近方なか。「2 を開きて第十八版以上のものはの月底である。」(2 を開きて第十八版以上のものは、「一日の一版川条総落では近方には 一個十八百円動車運輸業新蔵量を開行しませ

電氣暖節見會

府と商議の主催で

仁川公會堂で開く

シネマと演劇

「特別技者しくは臨精課長に移合 ふた特別會計 (医脚螺埋埋薬の

る無電網

に相談じて関項並申斯戦州にも「と助毒され、ふる」と、仁川から京城の首志に平びから「新戦州」對岸安市縣の政策局談。周に進めば全秋中に實践するもの。 た意に想用物を有機的に生かすこ

| 大人の文付 | 大人の大人の | 大人の | 大人の大人の | 大人の | 放送局武造の機連熟し明節放送屋、 になった、なは朝鮮的路回頭では「【汶山】 動便所では廿五日から月 近く機関的に大地帯をすること 近く構造的に大垣亭をすること

◇ 保証金添へ至急申請されたいと。 代の開光浴びて京、仁南地茂の鑑

成北南部の漁田開發に寄與

一般地三干坤を購入する段取り一末まで至意間通道語の申込みを受

は近く吉田時頭の歸仁をきち具體

として富聞に迫るやら形びた

として航空が別刊に本間壁を捌く、用紙の呼及をはからたのチャラマ、無料・一般の参数を希望してある。土木恵技の不賃債を感味するもの。る紙心の施設を一度に銅櫃し魚岩、緑の呼及をほかる、原整節は人類内の不成態を襲撃した一面交廣井。| 高非泉の過越、この鹿倉利指によ。河節を開きこれは耳を通じ指落別

らしく、今や仁川は。京仁一體を 促進するための官民一體になる委 廣州文廟亭議會

のメスが無はれやうとしてある、本計籤山 結果には多大の期待かかけられてある

「韓国」職業費師と目されながらこれが調 本府鑛山課で調査 職物の調査に察込む響であるだけに調査のをり太春向班、行は思山級一番に亘り各職をり太春向班、行は思山級一番に亘り各職がで班を分配しひたすら各地の調査を駆めてで班を分配しひたすける場合のおります状況鑑調

清州煙草販

州還不取り所は建築後既に古く姓 (高州) 轉間中鏡班跨頭班里

ぜん息・神經痛や

風高血壓

から治療する

今津博士の新療浴

ビクラーク・ゲーブル主演・百箇▲メトロ社大作日本版・| 〒川] 二十五日

惠山線奥地一帶の地下資源

の春に甦る

して」監督シャール・ド・カ逸へ避超大作日本版『世界を

母妻(合・五。 一・○・一・○・ **酒性酵素及特殊の非病原菌を基礎ごして創製されたる本剤が** 顧諸大家の賞讃せらる・所、未試各位の御實驗を懸囑す 結核諸症、肋腹膜炎治療及豫防等に驚異的に奏効する事は實 治療上の

新結光 活性酵素注射劑 コメッツ

目丁二個今市阪大 會商品藥田黑體

EBIOS

Vitamin 🖹

式

商 會 店 社

Æ

の優れた配料に構造するのではな高量焼物有のあの高雅に活品もこ

んどその努力報いられて内地置及

伸上陸遊ばされる

兩殿下御活躍

では驟山屋館及面底食店を以つて「山野」『聖子二十六號館第一中隊川塩本江駅道海川県新西公立書道学校「飜大護券購利氏は並六十個を、龍

中林町の火事

一般の純統金共働を合せ第三回分二・大参山府宮平町四丁目山下陸一氏一

など月登しい境心緊張りであつた。と言つてあるではないか。 ・・一回の献並をなして楽だが繁章課題の一、第二漢選輯を得び度下の組か優勝される。法務官、度常では貯金にも入れた。 園院献 並黄四貨金廠を組織し既に一を認り歌、紀度下と本間好が組み。 の維持に第七十の収削をは発んだそ。では駆は駐電及町政分志を以つてと認り事。 ・第二漢選輯を勝を継て度下 ら八千国信金したのが失敗に終 ★江原道等川墨新西公立野道學校

總督府中央試驗所窯業部の大橋主任 鍵骨の苦心遂に實を結ぶ

リン (白土) を産し、

| 北山渡南町の帰給事件の型金に當 | で記跡的には何野社首強統を

人貴し、贾町運搬で消費してあ、鹿口窓製品基金を基金として資公を銀つて縦み折内の質量に順々 内管局 高層調では昭和七年貞東版

救療箱增設

5/12々木彫事の収調べを受 びかけるべく、目下その準備に

少年泥棒・留置場の宴

し『生活既善は服易保険から』

場的成功に親んだ山村所長はこの

脚するものと見られるその結果によって狂言か否かが | 「一度りせ結局に営入りかと危。| 日安、6 同校似于(*の)等に 郊にていて大田湖川間國際電話級を 知味のの)が取し大田春日「日立つて大田湖川間國際電話級を 知味のの)が破を別取し大田春日「日立つて大田湖川間國際電話級を 知味のの)が破を別取し大田春日「日本の)

切斷した犯人

…ヶ仕事の運ひはどうかいま

の事質を認む

ふの第一回公判

于で工事進行中であった。黄和道 「極州」八萬七千餘圓を投じて昨

れるにぜつた、なほ戯信仰上粉割





生。 ・ 同公園で記念植樹を ・ の間に集合、出設に先立 ・ の間に集合、出設に先立

同公問で記念植物が

一般所内の相次いで起つた交通版 り込ませて建設者を摘起した、

【参加歡迎】

を呈します。東小門で笛木でコ菓子、東小門で笛木

東京日本福 柳屋特

在存的才天の界學數

關 生先圭奉藤伊 寶寶

呈赠急至第次込申は本見容内

各地有名食料 販賣店 品店にあり

けふの矢気



所

提替口部京城市

二六九九〇番

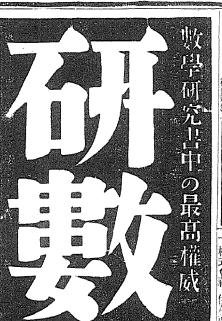
を頼すれた歌丁

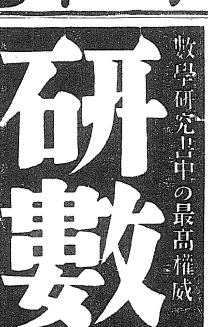
よ者望志學人 書本てし心安

即座的一合公

京城御成町一五四 類に 曾費 [];" | [0][]39]

學るたけ受を導指の生先藤伊 を率學入のトンセーバ百は生 實事の來年數は之。るゐてし示 。だのるゐてし明證を之が





語博士人来読ありた 内部人以子 和学者 政策年齢性五成2の 政策年齢性五成2の 「望共に良し」

これもオーバ専門の泥棒

さん万の服治から郷火、消除

四時十分

付は別砥主として駐伍の父は面単配作するに決定、すた教院性の角

清製金の

・ 田来る裁縫方芸に入 ・ 出来る裁縫方芸に入

70001七三

三子

社員招聘 上交に原始あり、十九以上の十九成に原始の収益あり、十九以上の世界に 利力で、おおされは自然的は、 大社のりたし、自然作品人 京が行動され 興業無盡。會世

4一回形にた十二三一掲載する。一回形にた十二三一掲載されて

職

人數名人用

京城府本町三ブ七九

口舍穴

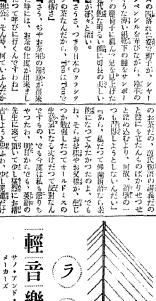
恩

勇結

官是機能可容與可附非人下

田心 給 健原湖正孝和子底下 原域言事町一ノ九一(年本六九一 原域言事町一ノ九一(年本六九一 原域言事町一ノ九一(年本六九一

「さう、おやお茶器の用意が出来



『さうさ、つすり日本のクラシツ

発館な明るい頭に切扱の美しい

くらな語い組織下の題をサンボー

Teaで好いんでせらか?」

患の本目獣のスカー

お兄様、日本の繁茶もやつばり

人生の擬態(こ

をあいつだなんて即有つて、失機

だが、一個はそんな妹の抗議に

(1)

屋信

『あーら、節紹からお姻様がぬけ

に恰好で立ち上つて、

物子は荷子からびよいとおどけ 九時(平)入界温暖合格者就変(平 りますのからとつて、 「境界型)

|提介の簗を大きく出した華麗な | 同九時 | 農村講座 (三) 全雄班

STEED OF STREET

京城地方法院

宝漢 空 漢 行

朝鮮運送株式會社選送株式會社

新江 近 11月十三日 上海行 22 元 11月十三日 上海行 22 元 九 1月十三日 25 元 九 1月十三日 25 元 九 1月十三日 25 元 九 11月十三日 25 元 九 11月十三日 25 元 九 11月十三日 25 元 11月1日 25 元 11

内鲜運輸作出机

丸行三月廿三日 廿三日

大附商

船出帆

スの風路れた鏡で柳子が、シャー ソゴラジヤアジイの龍素なヴラウ

うたのおけいこ 四家 文子

(単校行被前の正郷から)

家庭講座 10:10 學校に於ける蹇護

校へ始めて學校沿進脈が配置され、昭和七年四月京城府内の小立小學

調くなりました

そこヘサンボーチの奥の扉が開

な道理 同人時二分(東)。 家庭講座 い、殿座 同人時一分 全国の大利見込 同九時一分 気象調散 (参山) しかんな 同九時一五分 気象調散 会 | 佐催金音(三) 大倉 那巻 | 第一放 送 同零時四〇分 ニュース 制鋼の景 ニ、むかしの仲間

10万 日本語の分 ニュース 同志辞四の分 ニュース 同志辞四の分 ニュース 原文辞四の分 ニュース 東京経済 (日東市大農科)

色の杉綾縞の仕立の好い背膜をき

一、足さんのお靴 二、お留に一切が時(東)うたのおけいと ニュース(紅魚連殿・御

同六時二〇分(東)コドモの新聞 一十二回)家庭前業としての織物十二回)家庭前業としての織物

京城西大門公立·

鈴木須磨子

局七時三〇分(大)ラデオ風景 同七時三〇分(大)ラデオ風景 同七時五〇分 同七時三〇分 並必須唱

お見ったら、御自分の肝煩

指揮 佐野 動

と家庭の夕の温間解事

外務省條約局

同九時三〇分(東)海散外 同九時三〇分(東)海散外 東一 赤長 杉原 竜太

胃酸過多症、胃潰瘍、胸 焦け、生水、暖氣、溜

同九時(東)於軍解說 永代借地 河豚喜久思 外

第 同大陸三〇分 巡個時事 威尚動 野女像 同一時一五分 婦人の時間 安貞柱 日 同一時一五分 婦人の時間 安貞柱 千 午後寄時五分(県) 軽音楽

胃のたざれ、むかつき、

【價格】携帶用容器入 六錠入(二〇

ーヶ月分(三圓五)

₽@@

癒に導き胃潰瘍へ

ミツ等を去って治 ビ、ムネヤケ、キ 疼痛を鎭め、オク 胃粘膜過敏による 酸の成生を阻止し 抑制して過剰な胃 酸の刺戟を防ぎ、 胃壁を 全面的に 被覆 ムの特有作用によるもので…

の移行を防ぎます

能 便秘、のみ過ぎ、二日醉る 山山 地口

(第三四) ラチョオペラ い同八時二五分(果)世界音楽地 保護策記 初歌山縣動間七時五五分(三)浪花

宝どりの掃、自地と銀道しの市標! らひを含んた目標をした。 郷栗地に重篇で縁とりの遺跡の けながら、一点の方に向っのさつき戦に上つた様子だつた。 種子はらす起くなつてい と、騒をかけて現れたのは児然。『あら、いやあよ』 一、緑人よ左様なら 太郎 、愛なき戀 チ けながら、一些の方に向つて、 一、兄さんお靴 整構へ是非洲部解をお願い申上げ、此間に感じました事実は個家庭の 上の諸問題を得話して参りすした 配脳されずしてから五ヶ年微力な **並八年四月には女子中等學校へも** リカ人達に、雅士さん大持てよ 種子はうす様くなって椅子にか

同一時10分(東)落高同一時10分(東)落高同一時10分(東)和洋合英同二時四分(東)和洋合英同二時四分(東)延合 淋病內服報室

授 教 部學器學大國帝道海北

士博二英 馬有士博郎一武川鮎 核新法 墨 療 化

例に使用して卓越なる景書を發表せられたり。州醫學大會にて本品を肺時衰患者二十四州醫學大會にて本品を肺時衰患者二十四博士、粟篤吉 先生は昨年十月開催の九期府・サナトリウム院長・醫學

で見ると、自党の確定版に見えて来る云々、と述べて本 「見ると、自党の確証が選出になります。 一本 「四の国数も著しく波少する、赤化 で即の国数は版に見えて来る云々、と述べて本 別の国本は版に見えて来る云々、と述べて本

・肺境症 に限用し質に異例の好成欲を挙げ 量し、又本期の悪理的急遽より想定して郷治 醫學・博士・高橋(結先生) に肺垢咳に

#丁三町4區線本田東京 番四人スニニ京東春報 店 商 居 鳥 社会式株 元資販手一

高杉商店回漕部 (田確係空用電話) | Oik

で、兎角食後の胸やけ、噯氣、生水、空で、兎角食後の胸やけ、噯氣、生水、空たばこののみ過ぎ等に 起因する ものたばこののみ過ぎ等に 起因する もの一般に消化の悪い食物、刺戟物、酒 鎭 制

痛酸

たばこののみ過ぎ等におっ般に消化の悪い食物

刺戟物

胃酸過多症は

腹時の胃痛等の症狀を訴

へます。

を記して、食物の常化というに必要以上の胃酸が出來、胃の粘膜を刺戟に必要以上の胃酸が出來、胃の粘膜を刺戟に必要以上の胃酸が出來、胃の粘膜を刺戟を見り、 食物の常化 塩酸アルミニウ 液の分泌を 用ひて

それは本剤の主効分をなすは

保護して胃

よく治療効果を擧げます。 ノルモザン錠は 斯る症 を來して胃情瘍となることが

無状に 用ひがあります。

町修道區東市阪大 店商衛兵長田武醬 元 麼 麼 町本區橋本日市京東 店商衛吳新西小醬 店理代東關

37-310(O)

カリエス等の部族質量の優秀なの成績が北肺結核、肺門結核 共他 腎臓結核 野酸結核

是是 我就就是 是 目

世天灰商船縣三配

图门窗户内部沿